資料4

令和4年　月　日

デロイトトーマツコンサルティング合同会社

ICPモデル事業事務局事務局宛

**インターナルカーボンプライシング（ICP）を用いた投資決定モデル事業**

**応募申請書**

インターナルカーボンプライシング（以後ICP）を用いた投資決定モデル事業について、公募正式書類の記載内容に同意のうえ、下記のとおり応募します。

|  |
| --- |
| 1. 申請者
 |
| 応募企業名 |  |
| 業種（いずれかを選択） | エネルギー／運輸／素材（材料・原料）・建築物／農業・食糧・林業製品／金融／その他（自由記載：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 部署名、役職、氏名 |  |

|  |
| --- |
| 1. 連絡担当者 （2名までご記入いただけます）（役職規定等はございません）
 |
|  | 担当者① | 担当者② |
| 部署名等 |  |  |
| 役職等 |  |  |
| ふりがな氏名 |  |  |
|  |  |
| e-mail アドレス |  |  |
| 電話番号 |  |  |
| 住所 | 〒 | 〒 |

|  |
| --- |
| 1. 支援を受けた後の結果の公開について（希望するものに○）
 |
| 1. ① 支援後の結果を全て公開してよい
2. （個社情報を除く）
 |  | ⇒（４）にお進みください |
| ② その他非公開情報や懸念事項があれば、その詳細をご記入ください | 【公開できない情報について詳細をご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. 支援の内容について
 |
| 1. ICPの活用方法
2. （インターナルフィーについては、「インターナルカーボンプライシング活用ガイドライン」（http://www.env.go.jp/earth/datsutansokeiei\_mat04\_20220418.pdf）（P39～41）をご参照ください）
 | 投資の意思決定に反映 | 投資の意思決定に反映＋インターナルフィー（Internal Fee） |

|  |
| --- |
| 1. ICPの制度設計・実運用に向けた社内体制
 |
| ICP検討における社内体制 | 参加必須となる複数部署（気候変動対応と投資の意思決定に関連する部署）の参加が可能 | 事務局となる単一部署のみが参加 | 未定 |
| 【参加部署についてご記入下さい。参加部署からの参加人数が確定している場合や、担当責任者・責任部署が決まっている場合は、ご責任者氏名、ご担当部署についても併せてご記入下さい】 |

|  |
| --- |
| 1. CDP回答におけるICPの検討状況
 |
| 貴社は内部炭素価格（ICP）を使用していますか | はい | いいえ（2年以内に導入見込み） | いいえ（導入の見込みなし） | 未回答 |

|  |
| --- |
| 1. 対象スコープについて
 |
| ICPを適用する対象スコープの検討状況（現時点で希望するものを選択（複数選択可）） | Scope1（省エネ投資） | [ ]  |
| Scope2（再エネ投資） | [ ]  |
| Scope3（原材料調達） | [ ]  |
| Scope3（R&D） | [ ]  |
| Scope3（M&A） | [ ]  |

|  |
| --- |
| 1. 企業対象範囲について（※）（①、②それぞれについて希望するものを選択）
 |
| 1. ICPを適用する企業対象範囲の検討状況
2. （※検討過程での状況によっては、応募時のご期待に沿えない場合もございます）
 | ① | 国内のみ | [ ]  |
| 国内および海外 | [ ]  |
| ② | 本社のみ | [ ]  |
| グループ会社・子会社含む | [ ]  |

|  |
| --- |
| 1. 脱炭素目標の策定状況
 |
| GHG排出量（Scope1,2）の算定・把握ができている（該当の場合は左クリックで✓） | [ ]  |
| GHG排出量（Scope3）の算定・把握ができている（該当の場合は左クリックで✓） | [ ]  |
| 削減目標の設定状況 | 設定済 | 未設定 |
| 【削減目標を設定している場合は詳細をご記入ください】（Scope1,2,3のGHG排出量について、20XX年までに〇〇%削減、など） |
| 貴社の削減目標に対するSBT認定の取得状況 | 取得済（1.5℃） | 取得済（2℃未満） | 未取得 |

|  |
| --- |
| 1. スコープ1,2の算定状況（任意）
 |
| スコープ1 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】 |
| スコープ2 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. スコープ3の算定状況　※各カテゴリに該当しうる活動を算定している場合は、以下の欄に ご記入ください（任意）
 |
| カテゴリ | 現在の排出量と算定範囲 |
| 1 | 購入した物品・サービス |  |
| 2 | 資本財 |  |
| 3 | Scope1,2以外のエネルギー関連活動 |  |
| 4 | 上流の輸送・流通 |  |
| 5 | 廃棄物 |  |
| 6 | 出張 |  |
| 7 | 通勤 |  |
| 8 | 上流のリース資産 |  |
| 9 | 下流の輸送・流通 |  |
| 10 | 販売した製品の加工 |  |
| 11 | 販売した製品の使用 |  |
| 12 | 販売した製品の廃棄 |  |
| 13 | 下流のリース資産 |  |
| 14 | フランチャイズ |  |
| 15 | 投資 |  |
| その他 |  |

以上

資料4

令和4年○○月××日

デロイトトーマツコンサルティング合同会社

ICPモデル事業事務局事務局宛

**インターナルカーボンプライシング（ICP）を用いた投資決定モデル事業**

**応募申請書**

**＜記入例＞**

インターナルカーボンプライシング（以後ICP）を用いた投資決定モデル事業について、公募正式書類の記載内容に同意のうえ、下記のとおり応募します。

|  |
| --- |
| 1. 申請者
 |
| 応募企業名 |  |
| 業種（いずれかを選択） | エネルギー／運輸／素材（材料・原料）・建築物／農業・食糧・林業製品／金融／その他（自由記載：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 部署名、役職、氏名 |  |

|  |
| --- |
| 1. 連絡担当者 （2名までご記入いただけます）（役職規定等はございません）
 |
|  | 担当者① | 担当者② |
| 部署名等 |  |  |
| 役職等 |  |  |
| ふりがな氏名 |  |  |
|  |  |
| e-mail アドレス |  |  |
| 電話番号 |  |  |
| 住所 | 〒 | 〒 |

|  |
| --- |
| 1. 支援を受けた後の結果の公開について（希望するものに○）
 |
| 1. ① 支援後の結果を全て公開してよい
2. （個社情報を除く）
 | ○ | ⇒（４）にお進みください |
| ② その他非公開情報や懸念事項があれば、その詳細をご記入ください | 【公開できない情報について詳細をご記入ください】 |

|  |
| --- |
| 1. 支援の内容について
 |
| 1. ICPの活用方法
2. （インターナルフィーについては、「インターナルカーボンプライシング活用ガイドライン」（http://www.env.go.jp/earth/datsutansokeiei\_mat04\_20220418.pdf）（P39～41）をご参照ください）
 | 投資の意思決定に反映 | 投資の意思決定に反映＋インターナルフィー（Internal Fee） |

|  |
| --- |
| 1. ICPの制度設計・実運用に向けた社内体制
 |
| ICP検討における社内体制 | 参加必須となる複数部署（気候変動対応と投資意思決定に関連する部署）の参加が可能 | 事務局となる単一部署のみが参加 | 未定 |
| 【参加部署についてご記入下さい。参加部署からの参加人数が確定している場合や、担当責任者・責任部署が決まっている場合は、ご責任者氏名、ご担当部署についても併せてご記入下さい】＜例＞A会社・B会社における投資意思決定の関連部門・経営企画部（担当責任者：〇〇）：XX名（程度を予定、など目安でも可）・環境部：XX名・CSR部：XX名・サステナビリティ推進部：XX名・調達部：XX名・財務部：XX名・経理部：XX名 |

|  |
| --- |
| 1. CDP回答におけるICPの検討状況
 |
| 貴社は内部炭素価格（ICP）を使用していますか | はい | いいえ（2年以内に導入見込み） | いいえ（導入の見込みなし） | 未回答 |

チェックボックスにカーソルを合わせ、左クリックで✓を表示・非表示ください。

|  |
| --- |
| 1. 対象スコープについて
 |
| ICPを適用する対象スコープの検討状況（現時点で希望するものを選択（複数選択可）） | Scope1（省エネ投資） | [x]  |
| Scope2（再エネ投資） | [x]  |
| Scope3（原材料調達） | [x]  |
| Scope3（R&D） | [x]  |
| Scope3（M&A） | [ ]  |
| 不明 | [ ]  |

チェックボックスにカーソルを合わせ、左クリックで✓を表示・非表示ください。

|  |
| --- |
| 1. 企業対象範囲について（※）（①、②それぞれについて希望するものを選択）
 |
| 1. ICPを適用する企業対象範囲の検討状況
2. （※検討過程での状況によっては、応募時のご期待に沿えない場合もございます）
 | ① | 国内のみ | [ ]  |
| 国内および海外 | [x]  |
| ② | 本社のみ | [ ]  |
| グループ会社・子会社含む | [x]  |

チェックボックスにカーソルを合わせ、左クリックで✓を表示・非表示ください。

|  |
| --- |
| 1. 脱炭素目標の策定状況
 |
| GHG排出量（Scope1,2）の算定・把握ができている（該当の場合は左クリックで✓） | [x]  |
| GHG排出量（Scope3）の算定・把握ができている（該当の場合は左クリックで✓） | [ ]  |
| 削減目標の設定状況 | 設定済 | 未設定 |
| 【削減目標を設定している場合は詳細をご記入ください】（Scope1,2,3のGHG排出量について、20XX年までに〇〇%削減、など）＜例＞* 中期経営計画「ビジョン20XX」を策定。「20XX年までにカーボンニュートラルを達成する」をグループ共通の目標として掲げており、そのために以下3つの活動に取り組んでいる。①事業活動におけるCO2排出量（Scope1,2）をXX%削減（基準年：XX年）②サプライチェーンにおけるCO2排出量（Scope3）をXX%削減（基準年：XX年）③廃棄物の再利用による二酸化炭素排出量の削減
* 20XX年カーボンニュートラルに向けて、20XX年～20XX年までのCO2排出量の削減ロードマップを作成している
 |
| 貴社の削減目標に対するSBT認定の取得状況 | 取得済（1.5℃） | 取得済（2℃未満） | 未取得 |

|  |
| --- |
| 1. スコープ1,2の算定状況（任意）
 |
| スコープ1 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】＜例＞2020年度排出量　123,456 t-CO2／年本社のみ温対法の定期報告において把握済 |
| スコープ2 | 【現在の排出量と算定範囲をご記入ください】＜例＞2020年度排出量 7,890 t-CO2／年本社のみ温対法の定期報告において把握済 |

|  |
| --- |
| 1. スコープ3の算定状況　※各カテゴリに該当しうる活動を算定している場合は、以下の欄に ご記入ください（任意）
 |
| カテゴリ | 現在の排出量と算定範囲 |
| 1 | 購入した物品・サービス | 1,234,000 t-CO2／年一部の製品においてLCAを実施しており、製品製造までに生じる排出量を把握済 |
| 2 | 資本財 | 未算定 |
| 3 | Scope1,2以外のエネルギー関連活動 | 5,678 t-CO2／年本社のみ算定済 |
| 4 | 上流の輸送・流通 | 9,000 t-CO2／年国内グループ会社について算定済 |
| 5 | 廃棄物 | 123,000 t-CO2／年国内・海外グループについて算定済 |
| 6 | 出張 | 未算定 |
| 7 | 通勤 | 未算定 |
| 8 | 上流のリース資産 | 該当なし |
| 9 | 下流の輸送・流通 | 未算定 |
| 10 | 販売した製品の加工 | 該当なし |
| 11 | 販売した製品の使用 | 1,234,567 t-CO2／年一部の製品においてLCAを実施しており、製品使用段階の排出量を把握済 |
| 12 | 販売した製品の廃棄 | 8,900　t-CO2／年一部の製品においてLCAを実施しており、製品廃棄段階の排出量を把握済 |
| 13 | 下流のリース資産 | 該当なし |
| 14 | フランチャイズ | 該当なし |
| 15 | 投資 | 未算定 |
| その他 | 未算定 |

以上